
情報 I No. 05

情報セキュリティ

年	2	組		番		名前	
---	---	---	--	---	--	----	--

第1章 情報社会の問題解決 6. 情報社会と情報セキュリティ (教 P32-37)

☞情報セキュリティとは何か？なぜ必要とされるのか？

【TRY】①模擬体験サイトでスマートフォン利用における脅威を体験しよう。
前で演示するので、どのようなことが内容かメモしてください。



↑家でスマホで体験
してみてください

項目	どのような内容？
フィッシング詐欺	
ワンクリック詐欺	
ランサムウェア	

②大阪府警サイバー犯罪対策室のページの「注意喚起情報」でネット利用に際し
どのような脅威が増えているか、その対策について3つ書きだそう。



増えている脅威	どんな脅威？

③日本へのサイバー攻撃の現状を右のサイトで見よう。
どういった地域や国からが多いだろう。



--

【知識の整理】

- ① () = コンピュータや情報通信ネットワークを使った犯罪
- 1) () = セキュリティの欠陥や不正に ID・パスを使って侵入すること
(例) 他人の ID・パスを利用して不正に SNS などに侵入するなど
- ※ () = だましたり、盗み見るなど情報技術を使わずに情報を盗む
- 2) (**コンピュータ・電磁記録対象犯罪**) = コンピュータを不正に操作しデータを改ざんするなど
(例) **コンピュータウイルス**や**マルウェア**の作成・提供
- 3) () = ネットワークを利用して行う犯罪
(例) 違法な情報の送信、掲示板での誹謗中傷、**フィッシング詐欺**

↓ いろいろな脅威に対して安全対策が必要！

- ② () = 不正行為や不慮の事故に対して安全対策を講じる
- 1) () = 情報技術で安全対策をする
- () = 本人だけが知っているパスコード、秘密の質問への回答で認証する
 - () = 本人が持つスマホへのワンタイムパスワード送信、カードで認証する
 - () = 本人の身体的特徴である指紋、顔、静脈などによる認証する
- 組み合わせ: () = 暗証番号 + 生体認証など異なる 2 つの情報で認証する
- 2) (**情報セキュリティポリシー**) = 組織でルールを決めて安全を守る
- **機密性** = 許可された人だけが情報にアクセスできるように制限をする
 - **完全性** = 内容が正確で、不正に改ざんされないように制限する
 - **可用性** = 必要な時に情報にアクセスできるよう、システムダウンなどの対策をする
- 3) 個人での取り組み・・推測されにくいパスワード、情報モラル・法律を守る

- ③ () = 被害を与えようとする悪意を持って作成された不正ソフトウェア
- () = 破壊、送信などの被害を与える悪意を持って作られたプログラム
 - () = ウィルスに感染させたコンピュータを外部から操り、悪用するプログラム
 - () = 情報機器内の情報を収集し、収取者に送信するプログラム
 - () = データを勝手に暗号化し、複合を条件に支払いを要求するプログラム

【確認課題】調べよう・考えよう！

1. ワンクリック詐欺・フィッシング・ネットショッピング詐欺について、どのような対策ができるか調べて書きましょう。(参考：教科書 P37)

	対策をどうすればいいか？
ワンクリック詐欺・ 架空請求	
フィッシング	
ネットショッピング・ ネットオークション詐欺	

2. マルウェア（コンピュータウイルス、ボット、スパイウェア、ランサムウェア）はどうやって感染し、どのような被害をもたらすか。1つ調べて書いてください。

どうやってウイルスに感染するか？	感染するとコンピュータどうなるか？

3. 自分の普段使っているパスワードの安全性について右のサイトで調べてみよう。

パスワードの強度	解読時間	個人情報の流出



【振り返り】No. 05 の授業で学んだこと、気づいたこと、考えたことを箇条書きで書きましょう。

--

☑ 箇条書きで3行以上かきましよう